

令和6年度 伊平屋村第一回三校合同研修会

第2号

教育委員会

たより

文責
伊平屋村教育委員会
屋比久健太郎



「子ども一人一人が確かな『人間力』をみにつける教育」 子どもの将来を見据えた教育活動を通して」 講師 一般社団法人麻布教育ラボ 村瀬公胤氏

令和六年四月十日(水)伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、伊平屋村第一回教職員研修会が行われた。午前中は、伊平屋中学校・伊平屋小学校・野甫中学校の授業参観を行い管理職との面談にて各学校の良さや今後の方向性についての情報交換会を行った。研修会の目的は、「伊平屋村内すべての教職員が年度始めに集い、「すべての子の学びを保障する」視点に立ち、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて考えるところにも、村学力向上推進委員会における重点取り組みを確認する(ベクトルを合わせる)機会とする。」である。村瀬公胤氏の講演では、一、「世界の教育は、いま二、「人間力」の意味 三、「これからの授業という三本柱にて八十分の御講話を頂いた。

【第一回三校合同研修会 講演会 教職員感想】

- ・島発ち教育の根幹にあるものが人間力の育成であるということが分かりました。誰もが自分の人生、そして日々の授業の主人公になれるように、「選び・考え・表現する」という手段をしかけながら、最後には納得させるというプロセスがとても勉強になりました。また、様々な授業の実践例をとりあげていただいたことで、イメージがつきやすく、問いをうけたときに私自身も「学びたい」と思えることができました。本日はありがとうございました。



伊平屋村第一回三校合同研修会の様子

伊平屋村第二回 三校合同研修会 伊平屋中学校

令和六年五月七日(火)伊平屋村立伊平屋中学校にて、阿波連憲太教諭による公開授業(二年生・国語)が行われた。

本研修会は、一、伊平屋村三校の教職員が一堂に会し、村の学推重点取り組みを視点とした授業参観及び振り返り等の研修を行うことにより、「全ての子の学びの保障する」授業づくり授業改善を推進する。二、幼稚園・小学校・中学校の各校が緊密に連携し、共通の実践を確認するとともに、教職員同士が学び合う機会とする。を目的に行っている。四月の教職研修に引き続き、一般社団法人麻布教育ラボ 所長 村瀬公胤先生を招聘しての研修会が行われた。前回行われた研修会を踏まえての公開授業では、阿波連憲太教諭が子どもの主体性を引き出す選び・考え・表現する授業を組み立て実践してくれました。授業後の全体会では、村瀬公胤先生からの助言を頂き村内全教職員の学びの場となった。

【第二回 三校合同研修会 教職員感想】

- ・これまでに学んできた授業の行い方とは全く違う視点での授業づくりについて学ぶことができてよかったです。今回学んだことはすぐに授業に生かしていくことができると思うので、明日から実践していきたいと思えます。グループ学習、全体学習、個別学習の意味をもう一度勉強し直して授業を行っていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・教材研究の大切さ、児童理解の大切さを改めて学びました。さらに、子ども達の考えをアウトプットさせるためには、言語化する力、伝える力(表現する力)を育むべく、授業やその他の関わりで教師が意識し、子ども達に意識させたいと思いました。
- ・今は学期当初ということもあり、教師主導の授業がほとんどですが、前回と今回の学びを教材研究の視点に入れて、より児童の主体性を引き出す授業をつくっていかうと思えます。



講話：村瀬公胤先生



全体会の様子



公開授業の様子